

第10回傷害予防教育セミナー

わが国では、「不慮の事故」は、最近では、0歳を除いた小児の死因の第2位となっており、事故による傷害の予防は重要な保健活動のひとつです。事故による傷害の予防は重要な保健活動のひとつですが、「気をつけましょう」「目を離さないで」と注意喚起するだけでは、効果的な予防には繋がらず、予防法の評価もまったく行われていません。現実には、十分に気をつけていても事故は起こり、目を離さなくても、見ている目の前で起こるのが子どもの事故です。WHO（世界保健機関）も、「見守り」「心構え」では子どもの傷害は予防できないと明言しています。外因による子どもの健康被害を予防するためには、科学的なアプローチが不可欠です。

本会では、傷害予防を科学的に進める方法、最新の予防トピック、また実際に使用できるツールを紹介するセミナーを開催しております。本年も、学術集会の開催に合わせて開催いたします。

最近、出版された傷害予防の書籍（『保育・教育施設における事故予防の実践』

（<https://www.chuohoki.co.jp/products/welfare/5854/>）の内容も活用し、実践的な予防法について考えていきます。

公益社団法人 日本小児保健協会 会長 小枝 達也
同 傷害予防教育委員会 委員長 西田 佳史

【日時】令和4（2022）年6月24日（金）14：30～16：50

【開催方法】開催方法：第69回日本小児保健協会学術集会（三重）のプログラムとして開催。

・ハイブリッド開催（会場での口演およびZoomでのライブ配信）

【参加費】無料（ただし、学術集会への参加登録が必要です）

【参加方法】第69回日本小児保健協会学術集会（WEB開催）ホームページ上の「参加登録」ページ（<https://site.convention.co.jp/69.jsch2022/registration/>）から、学術集会への参加登録をしてください。参加登録時のフォーマットに、「傷害予防教育セミナー」への参加希望チェック欄がありますので、参加希望のチェックをしてお申込みください。なお、学術集会に参加登録をされた方は、当日に参加いただくことも可能です。

《プログラム》

14:30～14:45（15分） 子どもの傷害の実態と傷害予防の考え方

緑園こどもクリニック 院長 山中 龍宏

14:45～15:00（15分） 傷害の情報収集の方法

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 救急センター副看護師長 林 幸子

15:00～15:15（15分） 地域で取り組む科学的傷害予防

出口小児科医院 院長 出口貴美子

15:15～15:30（15分） データを活用した科学的な傷害予防の実践

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 北村 光司

15:30～16:50（80分） 傷害予防ワークショップ

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 大野美喜子

【本セミナーでの参考資料】※購入は必須ではありません。

「保育・教育施設における事故予防の実践 事故データベースを活かした環境改善」（中央法規出版）

【問い合わせ先】

公益社団法人 日本小児保健協会事務局

TEL：03-3868-3093 FAX:03-3868-3092 URL：<http://www.jschild.or.jp/>

研修会に関する問い合わせ E-mail：jschseminar-tantou@umin.ac.jp